

学習者用デジタル教科書で 実際に図形を操作して追究する

小学校 第5学年 算数

「合同な図形」

- (1) ねらい 2つの図形を重ね合わせる活動を通して、ぴったり重なる図形があることに気づき、合同の意味を理解することができる。
- (2) 評価規準 図形の合同の意味を理解している。
- (3) 学習展開 (1/7)

過程	学習活動	教師の指導・援助（留意点）
導入	<p>1 円を使っていろいろな四角形を作図する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん四角形ができたな。 ・同じ形に見える四角形がある気がするな。 ・重ねてみたら同じ形かどうか調べることができるな。 <p>○教科書の図を使って調べてみよう。</p> <p>【例】：円周上の4点を結んだ8つの四角形を提示</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートスクールの提出箱機能を用いて、他の児童が作成した四角形を見ることで問題意識を共有することができるようにする。
展開	<p>課題 図形を重ねて、同じ形があるかどうか調べよう。</p> <p>2 重なる図形があるかどうか調べる。(個人追究)</p> <p>○学習者用デジタル教科書を使用して、重なる図形があるかどうか調べましょう。</p> <p>※学習者用デジタル教科書の資料として、以下のボタンがある。</p> <p>「裏返す」・「回す」・「ずらす」</p> <p>→ ぴったり重なるように動かすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(さ)の四角形を回すと(え)の四角形とぴったりと重なるな。 ・(く)の四角形を裏返すと、(さ)の四角形とぴったり重なるな。 ・回したり裏返したりしてぴったり重なる図形は同じ形だと言えると思うよ。 <p>○ぴったり重ね合わせることでできる2つの図形は、合同であるといえます。合同な図形は形も大きさも同じです。</p> <p>○(あ)から(く)の中に、他の合同な2つの四角形はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(お)を裏返して、さらに回すと(き)にぴったり重ねることができるから(お)と(き)は合同な図形と言えるよ。 <p>回したり、裏返したりすると、合同な図形(同じ形の図形)があることがわかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人追究に入る前に、デジタル教科書の操作の仕方を確認する。うまく操作ができない児童には、机間指導の際と一緒に操作するようにする。 <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を活用することで、紙に四角形を写し取る時間を短縮し、操作する時間を十分に確保することができるようにする。 ・何度も試しながら考えることができるようにする。
終末	<p>3 評価問題に取り組む。</p> <p>ONEW! GIFU ウェブラーニングと教科書の鉛筆問題に取り組ましよう。</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価問題としてNEW! GIFU ウェブラーニングの問題を取り扱うことで、リアルタイムで児童の状況を把握できるようにする。